



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月12日

上場会社名 株式会社 ホギメディカル
 コード番号 3593 URL <http://www.hogy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部 部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 保木 潤一
 (氏名) 大橋 進
 TEL 03-6229-1300
 配当支払開始予定日 平成29年11月30日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	18,427	0.6	2,829	30.8	2,875	28.2	3,586	33.5
29年3月期第2四半期	18,310	3.7	4,089	6.7	4,006	10.3	2,685	11.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,641百万円 (342.9%) 29年3月期第2四半期 596百万円 (79.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	229.09	
29年3月期第2四半期	170.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	104,192	91,353	87.7	5,834.03
29年3月期	103,196	89,629	86.8	5,726.25

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 91,346百万円 29年3月期 89,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	30.00	30.00	30.00	30.00	120.00
30年3月期	31.00	31.00			
30年3月期(予想)			31.00	31.00	124.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,540	4.6	5,300	28.8	5,410	26.9	5,160	10.8	329.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	16,341,155 株	29年3月期	16,341,155 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	683,624 株	29年3月期	689,946 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	15,653,815 株	29年3月期2Q	15,708,272 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなど緩やかな回復基調で推移しましたが、不安定な海外情勢などの影響も懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

医療業界におきましては、増加し続ける医療費を背景に、国が推し進める社会保障・税の一体改革で描かれた2025年の医療・介護の将来像の実現に向けて、地域医療連携の強化や医療機能の分化・強化を図る政策が取られており、高度急性期病院・急性期病院では生き残りに向けて厳しい経営努力が求められております。その中で、当医療機器業界におきましても厳しい環境変化への対応が求められており、引き続き各企業はより一層の経営の効率化及び合理化が求められる状況となっております。

このような環境の下、当企業集団では、医療機関の経営改善を支援する「オペラマスター」と顧客のメリットを最大限に追求したキット製品である「プレミアムキット」の販売拡大、及び新製品の開発・販売に注力してまいりました。

「オペラマスター」の契約状況は、包括医療費支払制度(DPC)対象の医療機関を中心に、新規契約件数が13件となりました。一方、解約は7件で、累計契約件数は295件となりました。

キット製品は、「オペラマスター」が売上高を伸ばしましたが、新規契約医療機関におけるキット製品販売の立上げ不足による影響等がありました。新製品は、「内視鏡用ホルダ EMAR O」を3施設に販売いたしました。また、6月に稼働を開始した新キット工場は、段階的に生産数量を増加させております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,427百万円(前年同期比0.6%増)となりました。キット製品の売上高は10,708百万円(同2.7%増)、このうち「オペラマスター」の売上高は7,477百万円(同5.5%増)、不織布製品の売上高は4,610百万円(同2.5%減)となりました。売上原価は、新キット工場の償却費1,194百万円の増加などにより前年同期に比べ原価率が上昇いたしました。この結果、営業利益は2,829百万円(同30.8%減)となり、経常利益は2,875百万円(同28.2%減)となりました。また、株式の一部売却による特別利益2,222百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,586百万円(同33.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ996百万円増加し、104,192百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金3,253百万円の増加と、受取手形及び売掛金1,134百万円の増加等により、4,260百万円増加し41,369百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、建物及び構築物の減価償却等による626百万円の減少、機械装置及び運搬具の減価償却等による1,494百万円の減少等により、2,148百万円減少し49,838百万円となりました。無形固定資産は4百万円の減少により3,097百万円となりました。投資その他の資産は、所有する株式の一部売却と時価評価による投資有価証券1,055百万円の減少等により、1,111百万円減少し9,887百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ727百万円減少し12,839百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金416百万円の減少、新キット工場の機械設備構築等に係る負債524百万円の減少、未払法人税等282百万円の増加等により374百万円減少し、9,802百万円となりました。固定負債は、所有する株式の時価評価等に係る繰延税金負債323百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて352百万円減少し3,036百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益3,586百万円の計上による増加、剰余金の配当による959百万円の減少、所有する株式の一部売却と時価評価によるその他有価証券評価差額金713百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて1,723百万円増加し91,353百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の86.8%から87.7%へ増加いたしました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより19,482百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,238百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を 5,078 百万円、減価償却費を 3,094 百万円、投資有価証券売却益を 2,222 百万円計上し、売上債権の増加 1,164 百万円、法人税等の支払 1,170 百万円等がありました。これらの結果、キャッシュ・フローは 3,482 百万円となり、前年同期に比べ 2,610 百万円減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の一部売却による収入 2,298 百万円、有形固定資産の取得による支出 1,161 百万円等がありました。これらの結果、754 百万円の収入（前年同期は 5,094 百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払 960 百万円、信託型従業員持株インセンティブ・プラン (E-Ship®) による長期借入金の返済による支出 55 百万円、自己株式の処分による収入 51 百万円等がありました。この結果、965 百万円の支出となり、前年同期に比べ 37 百万円支出が増加いたしました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約 11,200 百万円の増加を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、新キット工場の機械設備の構築等による約 5,000 百万円の支出、所有する株式の売却等による 2,300 百万円の収入により、2,700 百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いにより約 1,930 百万円の支出を見込んでおります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の医療環境は、少子高齢化の進行や人口減少など労働力が不足していく中で、医療制度改革がより一層進められていくと思われれます。急性期病院においては、2025 年の将来像の実現に向けて、手術の集中化・低侵襲手術の拡大・地域医療連携の強化が促進され、効率的な手術室運営や経営改善への取り組みが進んでいくことが予想されます。

当企業集団は、「オペラマスター」と「プレミアムキット」の販売拡大を最重要戦略として取り組んでおり、今後、営業体制の見直しを行い、さらなる営業活動の増加を図ってまいります。また、海外事業の再編成と強化を行い、ASEAN諸国をはじめとする海外への進出を目指しております。

医療費の削減、環境保護・資源の有効活用に大きく貢献できるSUD（単回使用医療機器）のリプロセス（再製造）事業は、現在、年度内に第1段の承認申請を行うための検査・試験を進めております。

新キット工場は、「プレミアムキット」への置換を拡大することにより稼働率を上昇させて生産性の向上を図ってまいります。また、主要な製造拠点である子会社P. T. ホギインドネシアにおいても、更なる省力化や自動化を進めていくことにより生産性を改善してまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は以下のとおりであります。

(連結業績予想)

売 上 高	38,540 百万円	(前期比 4.6%増)
営 業 利 益	5,300 百万円	(前期比 28.8%減)
経 常 利 益	5,410 百万円	(前期比 26.9%減)
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	5,160 百万円	(前期比 10.8%減)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,658	19,911
受取手形及び売掛金	11,289	12,424
商品及び製品	4,062	3,911
仕掛品	484	483
原材料及び貯蔵品	3,847	3,834
その他	767	805
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	37,109	41,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,455	23,829
機械装置及び運搬具(純額)	16,205	14,710
土地	9,631	9,614
建設仮勘定	681	738
その他(純額)	1,012	946
有形固定資産合計	51,986	49,838
無形固定資産	3,101	3,097
投資その他の資産		
投資有価証券	9,504	8,449
その他	1,494	1,437
投資その他の資産合計	10,998	9,887
固定資産合計	66,086	62,823
資産合計	103,196	104,192
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,093	4,676
未払法人税等	1,209	1,491
引当金	491	489
その他	3,384	3,144
流動負債合計	10,177	9,802
固定負債		
長期借入金	508	453
退職給付に係る負債	303	343
その他	2,576	2,240
固定負債合計	3,389	3,036
負債合計	13,567	12,839

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	72,352	74,979
自己株式	△3,841	△3,799
株主資本合計	83,970	86,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,098	4,384
繰延ヘッジ損益	240	225
為替換算調整勘定	419	215
退職給付に係る調整累計額	△106	△118
その他の包括利益累計額合計	5,652	4,707
非支配株主持分	6	6
純資産合計	89,629	91,353
負債純資産合計	103,196	104,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	18,310	18,427
売上原価	9,836	11,173
売上総利益	8,474	7,254
販売費及び一般管理費	4,384	4,425
営業利益	4,089	2,829
営業外収益		
受取利息	6	13
受取配当金	72	51
その他	36	37
営業外収益合計	115	103
営業外費用		
為替差損	86	3
投資事業組合運用損	0	4
貸倒引当金繰入額	—	49
外国付加価値税等	110	—
その他	1	0
営業外費用合計	198	57
経常利益	4,006	2,875
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	—	2,222
特別利益合計	—	2,224
特別損失		
固定資産廃棄損	1	0
投資有価証券評価損	—	20
特別損失合計	1	20
税金等調整前四半期純利益	4,005	5,078
法人税等	1,319	1,492
四半期純利益	2,685	3,586
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,685	3,586

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	2,685	3,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△619	△713
繰延ヘッジ損益	△382	△15
為替換算調整勘定	△1,076	△203
退職給付に係る調整額	△11	△12
その他の包括利益合計	△2,089	△945
四半期包括利益	596	2,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596	2,641
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,005	5,078
減価償却費	1,952	3,094
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	49
受取利息及び受取配当金	△79	△65
投資事業組合運用損益 (△は益)	0	4
為替差損益 (△は益)	62	△15
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2,222
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	20
売上債権の増減額 (△は増加)	79	△1,164
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△228	70
仕入債務の増減額 (△は減少)	△264	△386
その他	1,767	127
小計	7,292	4,588
利息及び配当金の受取額	79	64
法人税等の支払額	△1,278	△1,170
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,093	3,482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,700	△1,161
有形固定資産の売却による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△334	△349
投資有価証券の取得による支出	△64	△69
投資有価証券の売却による収入	—	2,298
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	2	2
その他	0	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,094	754
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	574	—
長期借入金の返済による支出	△7	△55
自己株式の処分による収入	7	51
自己株式の取得による支出	△572	△2
配当金の支払額	△928	△960
財務活動によるキャッシュ・フロー	△928	△965
現金及び現金同等物に係る換算差額	△475	△33
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△404	3,238
現金及び現金同等物の期首残高	11,993	16,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,588	19,482

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

法人税等の計上基準

法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。